

7. 放射線業務従事者の男女別線量 [平成30年度]

性別 線量 (mSv)	放射線業務従事者数			集団線量 上段: 人・mSv 下段: (%)
	男子	女子	合計人数 上段: 人数 下段: (%)	
1以下	56,198 (89.0)	857 (99.7)	57,055 (89.1)	3,982.0 (11.2)
1を超え2.5以下	3,261 (5.2)	3 (0.3)	3,264 (5.1)	5,302.8 (15.0)
2.5を超え5以下	1,675 (2.7)	0 (0.0)	1,675 (2.6)	5,911.7 (16.7)
5を超え7.5以下	667 (1.1)	0 (0.0)	667 (1.0)	4,121.3 (11.6)
7.5を超え10以下	452 (0.7)	0 (0.0)	452 (0.7)	3,947.7 (11.1)
10を超え15以下	611 (1.0)	0 (0.0)	611 (1.0)	7,476.4 (21.1)
15を超え20以下	277 (0.4)	0 (0.0)	277 (0.4)	4,726.6 (13.3)
20を超え25以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
25を超え30以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
30を超え40以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
40を超え50以下	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
50を超える	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0.0 (0.0)
合計人数 (%)	63,141 (100.0)	860 (100.0)	64,001 (100.0)	—
男女の割合 (%)	98.7	1.3	100.0	—
集団線量 (人・mSv)	35,450.4	18.2	—	35,468.6 (100.0)
平均線量 (mSv)	0.6	0.0	0.6	—
最大線量 (mSv)	19.9	2.5	19.9	—

[表の見方]

- 例えば、表における線量1mSvを超え2.5mSv以下の男子「3,261」という値は、平成30年度1年間に男子で放射線業務を行い、その線量が1mSvを超え2.5mSv以下であった者が3,261人であったことを示します。
- 「合計線量」については、縦計と横計のそれぞれについて少数点以下第2位を四捨五入して集計しました。合計線量の縦計と横計が一致しないのは、四捨五入による集計上の取扱いによるものです。